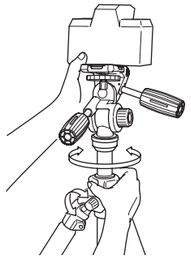
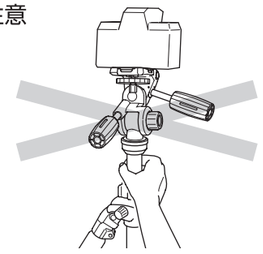
エレベーターの使い方

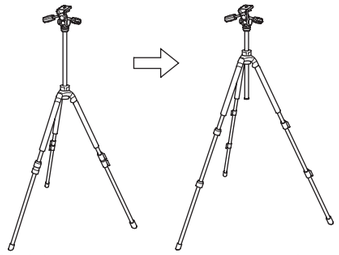


雲台に手をそえてエレベーターストッパー、
エレベーターロックナットの順にゆるめます。
雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前に
しっかりとナット、ストッパーをロックしてください。

⚠注意

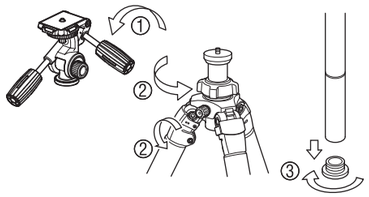


雲台はロックする前に手を離すと急に落下し、
手を挟む恐れがありますので、締め付けナットは
側面をつかんで操作してください。



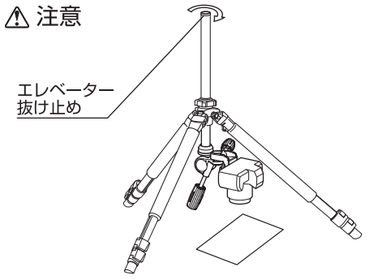
ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短く
してご使用ください。また、脚は太いパイプを優先
してお使いください。

エレベーターの上下差しかえ



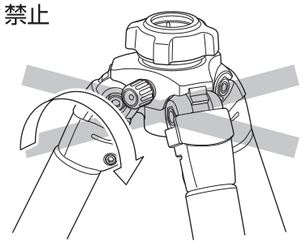
①エレベーターの上下差しかえのときは､必ず雲台を
はずしてください。
②エレベーターストッパーとエレベーター締め付け
ナットをゆるめます。
③エレベーター抜け止めを外しエレベーターを
ぬきとります。

⚠ 注意



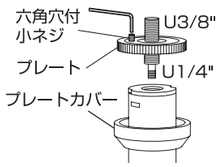
入れかえが終わったらストッパーを締めつけ、落
下防止のためエレベーター抜け止めを必ず取り付
けてください。

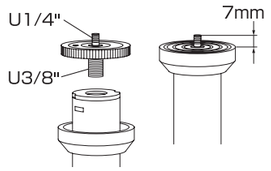
⃠ 禁止



エレベーターを抜きとったままエレベーターストッ
パーを操作しないでください。
内部の部品が破損します。

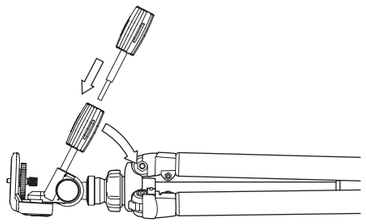
雲台取り付けネジの交換





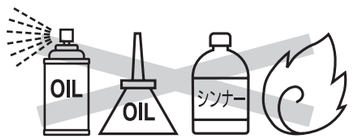
雲台取り付けネジは大ネジ(U3/8")と小ネジ(U1/4")
の反転式です。
1. プレートカバーを下にずらします。
2. 六角穴付小ネジを市販の六角レンチ(二面巾2mm)
を使って3回転位ゆるめます。
3. 小ネジを付けたままプレートを反時計回りに回
してゆるめます。
4. 雲台取り付けネジを反時計回りに回して抜きとり、
上下を反転させて再びねじ込みます。
5. 使用するネジが上面から7mm位出るように
プレートで調節し、小ネジをロックします。
6. カバーを元にもどします。

付属の三脚ケース



付属の三脚ケースに収納する場合は、三脚を次の
ような状態にして行ってください。
はじめに水平ティルトハンドルに差し込みます。
次に、図のようにパンハンドルを脚側に折りたたみ、
三脚ケースに入れます。

⃠ 禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
  破損、故障の原因となります。
  可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店または
  アフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。
  夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
  その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

©2015 SLIK CORPORATION

SLIK®

PRO 700 LE4-TI

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことに
ありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき
正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは
必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり
物的損害の発生が想定される内容です。

⃠ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

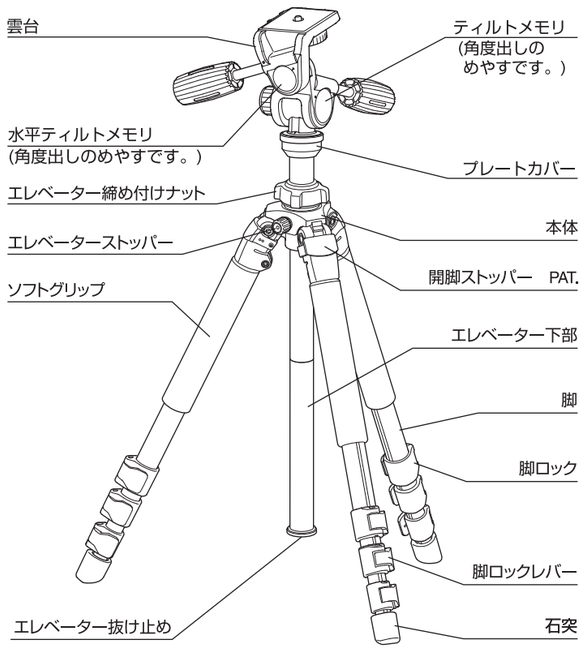
Q686-1

仕様

縮長	750 mm
全高	2,070 mm
EVスライド	380 mm
質量	3,700 g

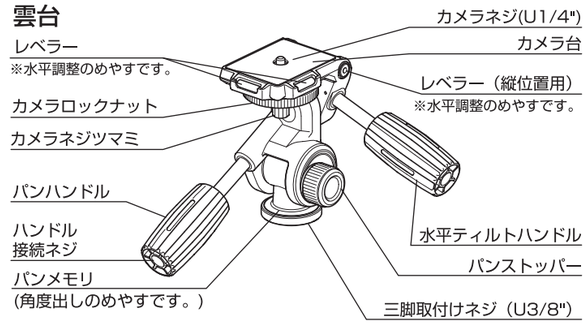
三脚ケース付

各部名称



⚠ 注意
ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだら
お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。（無料修理保証の対
象外です。）
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

雲台



⃠禁止
パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。

※三脚用レベラーは水平調整のめやすです。
　カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

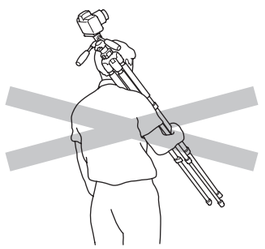
搭載する機材

⃠ 禁止

この製品の固定力は、7kg位までの機材を載せるように作られています。
これ以上の機材は載せないでください。
また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの雲台をお使いください。

持ち運びのとき

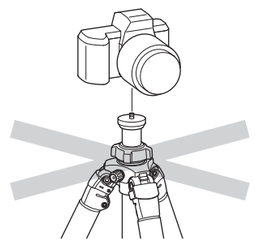
⃠ 禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

雲台取付けネジ

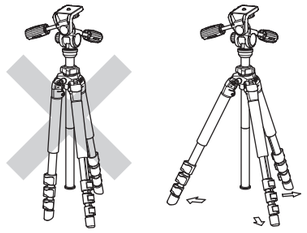
⃠禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。
雲台などを介してお取り付けください。

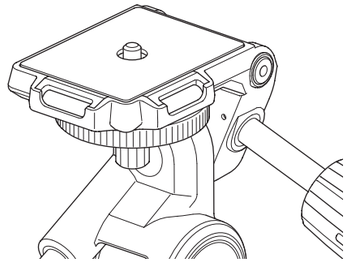
機材の取り付けとセットアップ

⚠注意



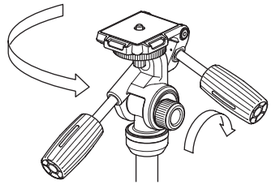
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

レベラー



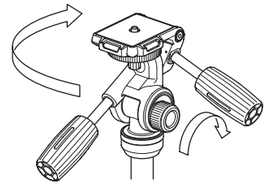
カメラ台のレベラーを使用すると、水平出しのめやすとすることができます。

雲台の取り外し

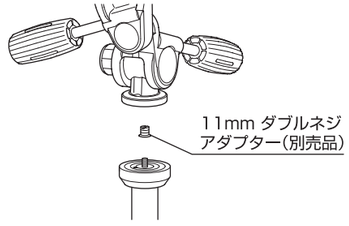


他の雲台やアクセサリーをこの脚に取り付けたいときは、次の方法で交換してください。始めに、エレベーターをエレベーターストッパーでしっかり固定します。次に、雲台のパンストッパーをしっかり締め込み、パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台を回します。
これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け

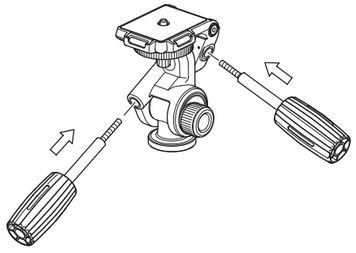


雲台(アクセサリー)と三脚のネジを合わせます。
雲台を時計まわりに止まるまでまわします。
パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにねじこみます。
パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。



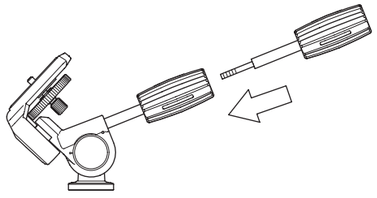
雲台を小ネジ(U1/4)の三脚へ取り付けるときは、11mm ダブルネジアダプター(別売品)をご使用ください。

パンハンドルの取り付け



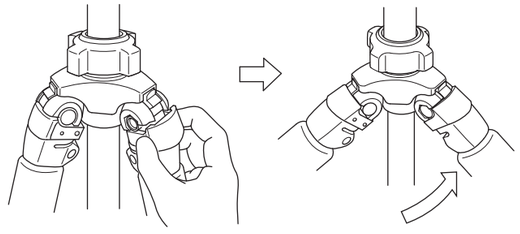
雲台に2本のハンドルを取り付けます。
ハンドルに長・短はありません。どちらにも取付けることができます。

収納



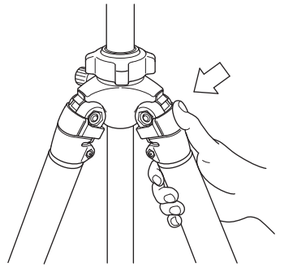
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のハンドル接続ネジにねじ込んでください。コンパクトに収納できます。

開脚角を変える



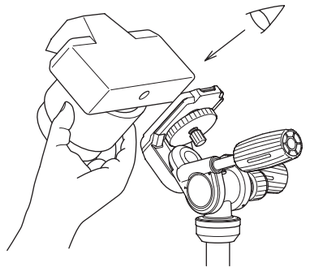
標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角(ミドル、ローポジション)がえらべます。

⚠注意

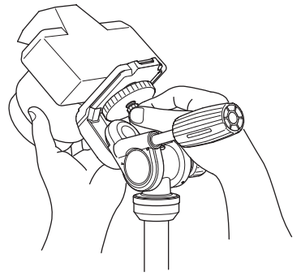


使用角度が決まったらストッパーをつきあてにあたるように確実にもどしてください。

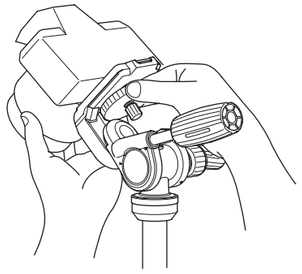
カメラの取り付け



ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

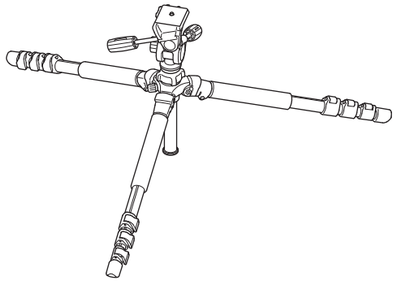


カメラをしっかり支えながら下側のカメラネジツマミを、ねじ込みます。

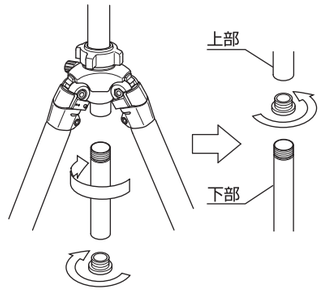


次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

ローポジション

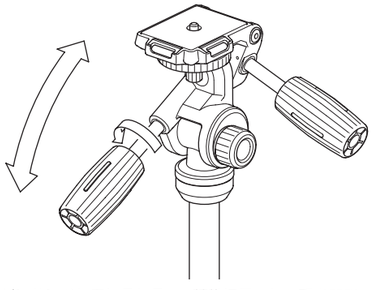


エレベーターの下部を取り外すことにより、より地面に近い位置からの撮影が可能です。

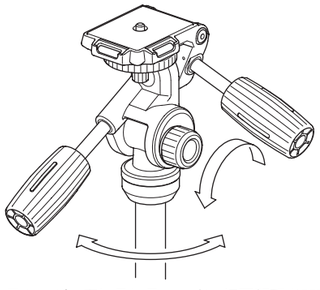


エレベーター抜け止めと、エレベーターの下部を矢印方向にねじり、取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。

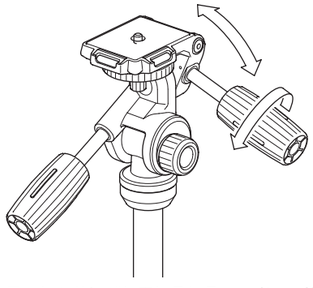
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

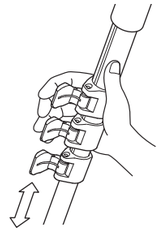


パンストッパーをゆるめると、水平に回転できます。



水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。

脚の伸縮



脚ロックレバーを開くと脚は伸縮できます。
希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。太いパイプを優先してご使用になると、グラつきが少なくなります。

脚を閉じた状態で、石突を下に向けて操作すると、扱いがらくです。